



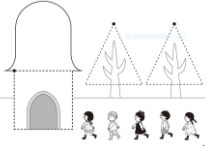
3 歳児クラス 1 2 月 第 2 回 「すてきな三にんぐみ」

保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

シアタータイム

導入	講：「今日のお話は…」と絵本の表紙を怪しさを漂わせながら提示。 表紙の絵と「すてきな…」のタイトルとのギャップから子どもの興味を引出し内容に読み進めていく。	教材	 すてきな三にんぐみ 
		★絵本 ★iPad(シアターセット)	
読み方	①声色を低くするなど、お話の雰囲気に合わせて声のトーンを変えながら読む。 ②短い言葉の中に情景をイメージさせる言葉がたくさん入っている絵本なので、子ども達にも考えさせながら表現豊かにお話を進める。(例「すみを流したような夜」「ごらんのとおりざっくざく」等) ③お話の最後に余韻を残すため、表紙の絵を見せ「3つのおどしの道具は何だった？」などのクイズを出しお話を回想して終わる。	保育士の役割	
		・子どもと一緒に お話しを楽しむ	

がくしゅうタイム

活動①		描く	力強く点線をなぞり、△と□を描く	
設問	消えそうな塔と木の点線（□と△）を力強くなぞり、直してあげましょう			教材
つなぎ	<ul style="list-style-type: none">講：「みんな幸せになって良かったね」保：「今日は素敵な3人組からお手紙届いてますよ」とプリントの入った封筒提示。			P 1
活動内容	<ul style="list-style-type: none">講：「3人から願いがありますだって」とプリント配布。 「なにに？『私たちのお城とお庭の木が消えそうなんです。みんなの力で直してください』だって。大変！みんなで直してあげようか？」子ども達とプリントの点線部分の□と△を指でなぞりながら確認。 クレヨンを準備して見本を見せる。 ※全て丸い点からスタートさせる。 ※力強い直線で描いていく。特に△の斜め線はこの時期まだ難しいので「斜めになってる、滑り台みたい」と強調して描いていく。 「みんなもやってみる？直してあげよう！」とやる気を引き出し準備の指示を出す。子：クレヨンを準備して講師同様に線を引いていく。講：子ども達の状況を見て時間差がある様なら、早い子に木やお城に色を塗って待たせる。全体の様子を見て終了の合図を出し、みんなで直したプリントを見せ合う。 力強くお城と木が描けていることを称賛する。 <p>※プリントそのまま活動②>に進む。</p>			※提示用のプリントは必要に応じて拡大してご準備ください ★クレヨン
				保育士の役割
				<ul style="list-style-type: none">プリントの入った封筒提示プリント配布必用に応じて子どものフォロー称賛
活動②		位置	「○番目」を理解して答えに○をすることができる	活動①と同じ
設問	並んでいる子どもの前（後ろ）から○番目の子にクレヨンで○をしましょう。			教材
つなぎ	<ul style="list-style-type: none">講：「みんなが直してくれたから、集まって来た子ども達も嬉しそうだね」とプリントの子どもに注目させる。			P 1
活動内容	<div>数にチャレンジ</div> <ul style="list-style-type: none">講：「子どもが何人いるかな？前(左)から数えてみようか？」子ども達と一緒に前（左）を指さし確認、一緒に声に出して数えていく。子：講師と一緒に子どもの数を指さしながら数え、「5」を確認する。講：「全部で5人いたね。ではここで先生からのクイズ！チャレンジしてみる？」と誘いかけ「今日は先生が言った子を見つけてクレヨンで○をしてね。列をよく見て見つけてね。では問題です」と以下を参考に出題する。 例) ①前（左）から○番目の子に黄緑の○をしましょう。 ②後ろ（右）から○番目の子に水色の○をしましょう。 ※クレヨンの色は子どもの状態を見て入れる。例題のように苦手な中間色を入れ			★クレヨン
				保育士の役割
				<ul style="list-style-type: none">必用に応じて子どものフォロー称賛

